

1-3. 受託調査研究

④ 1) アンタルヤ国際園芸博覧会屋外展示における造園緑化技術の情報発信及び出展効果に関する調査

委託者：国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室

1. 業務の目的

2016（平成28）年にトルコ共和国のアンタルヤ市において開催する国際園芸博覧会において、我が国はトルコ共和国政府からの参加招聘に対し、歴史的な有効関係と外交上の一層の強化を図る観点から、公式参加することを平成27年4月に閣議了解し、国土交通省としては、野外展示（日本庭園）出展することとしている。

我が国は、古くより日本庭園をはじめとする高度な造園緑化技術を応用・活用しつつ、都市公園の整備や都市緑化を推進することにより、良好な都市環境の形成を図ってきたところである。このような我が国の独自の造園文化や、伝統的な造園緑化技術、さらにこれらの技術を踏まえて改良されてきた先進的な造園緑化技術（屋上・壁面緑化技術等）は、国内のみならず、海外の都市開発においても良好な都市環境の形成の観点から活用が期待されており、都市開発の拡大が予想される海外地域における環境ビジネスを拡大していくための効果的な情報発信等の取組みが不可欠である。そうした中、国際園芸博覧会は、世界各国から都市緑化に携わる関係者が集まる場であり、我が国の有する高度な造園緑化技術を世界にアピールする絶好の機会となる。

以上を踏まえ、本業務は、我が国の造園緑化技術の発信と海外展開の促進を図るため、4月23日から10月30日までの開催期間で開催される「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会」での日本政府出展屋外展示において、造園緑化技術の情報発信を行い、その事業効果の把握、分析を行う。

2. 業務の概要

(1) 我が国の伝統的な造園緑化技術の情報発信

「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会」での日本政府出展屋外展示において、関係機関等との調整を図りつつ、我が国の伝統的な造園緑化技術に係る情報発信を行う。特に、ジャパンデー（9月上旬～中旬に開催予定されている、各参加国の参加を称えるナショナルデー）における日本の伝統文化に係るPRイベントにおいて、重点的に情報発信を実施する。

(2) 屋外展示（日本庭園）の事業効果の把握・分析

屋外展示（日本庭園）の出展や（1）で実施した情報発信に対する、来場者及び他

の出展国の意識調査を実施し、海外から見た我が国の伝統的な造園緑化技術に対する認識、趣向、ニーズを把握するとともに、造園緑化技術に係る海外事業の推進や海外からの観光誘致の観点から、屋外展示の事業効果の分析を行う。

(3) 報告書とりまとめ

(1) ～ (2) について報告書として取りまとめた